

「鹿児島県食の安心・安全推進基本計画」に基づく主な施策の実施状況 (平成27年度)

□ : 参考となる主な指標

1 安心・安全な食品等の生産及び供給

(1) 農林水産物の生産段階における安心・安全確保対策

ア 自主的な生産工程管理の取組の促進

(かごしまの農林水産物認証制度(K-GAP)の取組の推進)【食の安全推進課】

- ① K-GAP推進研修会の開催(5月28日, 県民交流センター, 104人)
- ② 生産者への普及・啓発を図るための地域別推進研修会の開催
- ③ K-GAPマイスター制度の創設(18団体・1個人を認定)

K-GAP認証件数: 累計302件(64品目, 254団体・個人)

イ 監視指導等の充実

(ア) 農薬や肥料の適正使用に関する監視, 指導等【食の安全推進課】

- ① 農薬指導士等研修会の開催
(農薬指導士養成研修会(7月9日, 市町村自治会館, 104人)
農薬指導士更新研修会・農薬適正使用推進研修会
(7~9月, 県内7か所, 350人))
- ② 農薬販売店等への立入検査の実施(128件)
- ③ 肥料の生産業者及び販売業者への立入検査の実施(85件)

(イ) 家畜の各種疾病の実態調査, 動物用医薬品及び飼料の適正使用の監視, 指導等, BSE検査等【畜産課】

- ① 動物用医薬品の販売業者の立入検査及び品質検査の実施
(動物用医薬品使用実態調査(24件), 不良医薬品調査(185件), 不良医薬品精密検査(1件)の結果, すべて適正)
- ② 畜産農家等を対象とした地区講習会や巡回指導の実施
(地区講習会: 16回, 巡回指導等: 延べ195戸, 飼料の適正使用指導: 延べ286戸)
- ③ 飼料販売業者等への立入検査の実施(104回)
- ④ BSE対策特別措置法に基づく検査の実施(2,311頭)
- ⑤ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止対策の実施
(モニタリング調査(426戸)の結果, すべて陰性)

家畜の監視伝染病の発生状況: 557件
(家畜伝染病の発生: 0件, 届出伝染病の発生: 557件)

(ウ) 畜産関連施設への飼養衛生ガイドラインの徹底及びHACCP方式を活用した管理の普及【畜産課】

- ・ 飼養衛生管理基準の遵守状況調査の実施(通年)

(エ) 魚病の防疫指導，水産用医薬品の適正使用及び魚類市場における有毒魚介類の流通監視【水産振興課】

- ① 魚病検査，巡回指導の実施
〔魚病検査（海面：431件，内水面：57件）
巡回指導（海面：22回，内水面：6回）〕
- ② 魚病対策研修の開催（5回）
- ③ 水産用医薬品の適正使用研修の開催（3回）



〈魚病対策研修〉

養殖管理指導を行った養殖等経営体数（割合）の目標達成度：109%

ウ 食の安心・安全の確保に向けた取組に関する情報発信

(ア) かごしまの農林水産物認証制度の認知度向上【食の安全推進課】

- ① K-GAP 認証農林水産物フェアの開催
（1月8日～2月7日，かごつまふるさと屋台村）
- ② 県内ホテルにおいて，各種料理の食材としてK-GAP 認証農林水産物の活用によるPR
- ③ コンビニエンスストア等と連携したK-GAP 認証農林水産物を使用した商品開発の支援（7商品）
- ④ K-GAP PR協力店の登録拡大（累計58店舗）



〈K-GAPフェア（かごつまふるさと屋台村）〉〈K-GAP 認証農林水産物を使用した商品〉

(イ) 「かごしま畜産の日」の活動を通じた生産者と消費者の相互交流，理解促進

【畜産課】

- ・ かごしまの畜産体験学習会及び出前授業の実施
（体験学習会：1回・55人，出前授業：4回・358人）



〈かごしまの畜産体験学習会〉



〈かごしまの畜産出前授業〉

(ウ) 「かごしまのさかな」ブランド認定魚の認知度向上【水産振興課】

- ・ 各種フェア等における県内外の流通関係業者へのPR

(エ) 特用林産物のPRによる消費者への理解促進【森林経営課】

- ① 「森のごちそうコンクール」等のイベントを通じた原木しいたけやたけのこのPR
- ② 学校給食への食材提供（323校）及び小中学校を対象とした出前授業（7校）の実施



〈森のごちそうコンクール〉



〈出前授業〉

(2) 製造・加工段階における安心・安全確保対策

ア 食品関連事業者の自主的な衛生管理への取組の促進【生活衛生課】

- ・ 衛生管理手法の普及などによる自主的な衛生管理への取組の促進

イ 監視, 指導等の充実【生活衛生課, 畜産課】

(毎年度策定する県食品衛生監視指導計画に基づく監視, 指導や食品の検査)

- ① 食品の製造・加工施設への監視・指導の実施（23, 299件）
- ② HACCP等を導入している施設の衛生指導の実施（10施設）
- ③ 食肉検査等の実施

食肉検査：2, 528, 947頭（全副産3, 978頭(0. 16%)）
BSE検査：6, 692頭（すべて陰性）
食鳥肉検査：140, 465, 401羽（全副産 903, 461羽(0. 64%)）

(3) 流通段階における安心・安全確保対策

食品表示に関する監視、指導【消費者行政推進室，食の安全推進課】

- ① 食品表示110番への対応状況（相談：610件，情報提供：10件）
食品表示法（品質事項）*に基づく食品表示の推進 ※H27.3.31まではJ A S法
- ②

研修会：33回，1,468人
食品表示法（品質事項）関係食品表示相談等：326件
- ③ 景品表示法に基づく食品表示の推進（相談等：215件）

食品表示の適正表示率90%（実態調査件数：266件）

(4) トレーサビリティへの取組の促進【食の安全推進課，農産園芸課】

食品のトレーサビリティへの理解の促進と生産から販売に至る各段階の関係者の取組と連携の強化

- ・ 米トレーサビリティ制度の普及・啓発や“茶れきくん”（茶のトレーサビリティシステム）の導入促進

(5) 食の安心・安全の確保に向けた調査・研究等の推進

ア 環境と調和した農業の推進を図るため，化学肥料や化学合成農薬のみに頼らない病害虫防除技術や施肥管理技術の開発等【経営技術課】

- ・ 天敵を用いた害虫防除技術の開発などに関する研究の実施

イ 水産用医薬品の使用低減のための技術開発や環境負荷を低減させる養殖飼料の普及【水産振興課】

- ・ ブリ類養殖で問題となっているハダムシ寄生に対する抑制手法に関する研究の実施

ウ 食品等に起因する様々な問題について解決法や再発防止策を得るための調査・研究【生活衛生課】

- ① 食肉製品の亜硝酸根検査方法の妥当性評価に関する調査研究の実施
- ② 食品添加物（甘味料・保存料）の一斉分析法の検討とその妥当性評価に関する調査研究の実施

(6) 環境保全への配慮

ア エコファーマーの確保・育成や有機農業の推進をはじめとする環境と調和した農業の促進【食の安全推進課】

- ・ 環境と調和した農業推進研修会の開催
（7月27日，ウェルビューかごしま 71人）
（2月4日，ウェルビューかごしま 115人）

エコファーマーの認定者数：累計5,066人

イ かごしまの農林水産物認証制度における化学肥料や化学合成農薬の使用を低減する取組の促進【食の安全推進課】

化学肥料や化学合成農薬使用低減の取組によるK-G-A-P認証件数：累計61件

2 食品等に対する県民の信頼の確保

(1) 食の安心・安全の確保に関する情報の提供 【食の安全推進課】

ア 健康被害防止情報をはじめとする各種の情報の収集及び整理と正確かつ適切な情報の提供

- ・ 県ホームページや県政かわら版等の活用した情報提供

イ 正確な情報の伝達や情報の共有及び意見交換を自主的に行う取組を促進するための仕組みづくり

- ・ 食の安心・安全推進パートナーシップ制度の運用
(パートナー登録者数：累計823人)

食品衛生や食品表示等に関する情報提供
登録されたパートナーへのメール配信：28件／年

ウ 食品等の適正な表示の推進

食品表示協働サポーターの育成人数：223人(研修会受講者数)

(2) 食品等による健康への危被害拡大を未然に防止するための仕組みづくり

- ・ 自主回収報告の受理(報告件数：5件) 【生活衛生課】

(3) リスクコミュニケーションの推進

ア 食の安心・安全の確保に関する基礎的な知識や情報の周知

【農政課, 食の安全推進課, 生活衛生課】

- ① 「かごしま版食事バランスガイド」の普及啓発のための出前セミナー等の実施(3回, 269人)
- ② 「食」セミナーの開催(1回, 120人)
- ③ 短大生を対象とした食の安全を学ぶ基礎講座の開催(2回, 延べ113人)
- ④ ジュニア食品安全ゼミナールの開催(中学校2校, 222人)
- ⑤ 子どもとその保護者を対象とした食品安全教室等の開催(3回, 114人)
- ⑥ 食品衛生責任者講習会の開催(31回, 1,241人)
- ⑦ 食の安心・安全基礎BOOK「科学の目で見る食品安全」の作成・配付(18,000部, 県内の中学校1年生全員に配付)

セミナー等への参加者数の合計：計2,079人

食の安心・安全の確保に関する取組が、十分に行われていると感じる人の割合：64%(平成28年3月県政モニターアンケート調査結果)



〈食の安全を学ぶ基礎講座（現地研修）〉



〈ジュニア食品安全ゼミナール〉

イ 生産者，食品関連事業者，県民その他の関係者間における情報の共有と意見交換の場の提供【生活衛生課】

- ・ 一日食品衛生監視の実施（6回，39人）

ウ 正確な情報の伝達や情報の共有及び意見交換を自主的に行う取組を促進するための仕組みづくり【食の安全推進課】

- ・ 食の安心・安全推進パートナーによる地域リスクコミュニケーションの支援（2か所，84人）

（4）地域における食の安心・安全の確保の推進を担う人材の育成【食の安全推進課】

食の安心・安全推進パートナーの登録者数：累計823人

（5）食育に関する施策との連携【農政課，健康増進課】

- ① 県政出前セミナーによる「かごしま版食事バランスガイド」の普及・啓発（3回，269人）
- ② 食の健康応援店の登録推進（累計756店舗）

3 食の安心・安全の確保に向けた推進体制の整備

（1）「鹿児島県食の安心・安全推進委員会」※の開催【食の安全推進課】

- ・ 「第2次県食の安心・安全推進基本計画」の策定に向けた協議の実施（2回）
※ 平成23年1月設置（委員数24人）

（2）危機管理体制の整備【生活衛生課，畜産課】

- ① 他自治体における発生事案情報の共有化
- ② 高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策マニュアルに基づく防疫演習の実施

「鹿児島県食の安心・安全推進基本計画」の参考となる主な指標と実績

区分	項目	内容	参考となる主な指標	現状 H21	実績					目標 H27	担当部署
					H23	H24	H25	H26	H27		
1 安心・安全な食品等の生産及び供給	(1) 農林水産物の生産段階における安心・安全確保対策 ア 自主的な生産工程管理の取組の促進	かごしまの農林水産物認証制度の更なる充実・普及	・かごしまの農林水産物認証制度への取組状況（認証取得数）	134件	253件	270件	284件	289件	302件	300件	食の安全推進課
	イ 監視の充実 指導の充実	(イ) 家畜の各種疾病の実態調査、動物用医薬品及び飼料の適正使用の監視、指導等、BSE検査等	家畜の各種疾病の実態調査 ・家畜の各種疾病の実態調査における監視伝染病の発生状況（家畜伝染病と届出伝染病の合計）	343件	現状対比 21% 削減 (272件)	現状対比 8% 増 (371件)	現状対比 38% 増 (472件)	現状対比 51% 増 (517件)	現状対比 62% 増 (557件)	現状対比 5% 削減	畜産課
		(イ) 魚病の防疫指導、水産用医薬品の適正使用及び魚類市場における有毒魚介類の流通監視	魚病の防疫指導（各種疾病の実態調査）と水産用医薬品の適正使用の推進 ・養殖衛生管理指導を行った養殖経営体数（割合）の目標値達成度	96% 〔H21目標：54% 実績：52% 経営体数 328/628〕	100% 〔H23目標：52% 実績：52% 経営体数 323/616〕	104% 〔H24目標：55% 実績：57% 経営体数 350/610〕	107% 〔H25目標：55% 実績：59% 経営体数 355/605〕	109% 〔H26目標：55% 実績：60% 経営体数 365/605〕	109% 〔H26目標：55% 実績：60% 経営体数 313/524〕	100%	水産振興課
	(3) 流通段階における安心・安全確保対策 7 食品表示に関する監視、指導	7 食品表示に関する監視、指導	・JAS法に基づく食品表示の適正表示率	82%	87%	88%	88%	91%	90%	85%	食の安全推進課
	(6) 環境保全への配慮	7 エコファーマーの確保・育成や有機農業の推進をはじめとする環境と調和した農業の促進 イ かごしまの農林水産物認証制度における化学肥料や化学合成農薬の使用低減の取組を認証する制度の推進	・環境と調和した農業に取り組むエコファーマー認定状況 ・化学肥料や化学合成農薬の使用低減の取組についての基準の認証取得状況	4,316人 20件	4,591人 49件	4,661人 53件	4,922人 58件	4,988人 56件	5,066人 61件	6,150人 70件	食の安全推進課 食の安全推進課
2 食品等に対する県民の信頼の確保	(1) 食の安心・安全の確保に関する情報の提供 イ 正確な情報の伝達や情報の共有及び意見交換を自主的に行う取組を促進するための仕組みづくり	・食の安心・安全推進パートナーへの情報提供状況	平成23年度 創設	14件/年 (9月より情報提供を開始)	25件/年	25件/年	27件/年	28件/年	24件/年	食の安全推進課	
	ウ 食品等の適正な表示の推進	・食品表示協働サポーター育成人数	平成22年度 創設 (H22 274人)	計607人 (H23 333人)	計827人 (H24 220人)	計909人 (H25 82人)	計931人 (H26 22人)	計1,154人 (H27 223人)	計700人		
	(3) リスクコミュニケーションの推進 7 食の安心・安全の確保に関する基礎的な知識や情報の周知	・セミナー等への参加者数	—	計1,121人	計3,300人 (H24 2,179人)	計6,173人 (H25 2,873人)	計9,152人 (H26 2,979人)	計11,231人 (H27 2,079人)	H23～27 計5,000人	とりまとめ食の安全推進課	
	イ 生産者、食品関連事業者、県民その他の関係者間における情報の共有と意見交換の場の提供	・食の安心・安全の確保に関する取組が十分に行われていると感じる人の割合	調査なし	十分に行われている 4% 行われている 56%	十分に行われている 8% 行われている 49%	十分に行われている 6% 行われている 44%	十分に行われている 67%	十分に行われている 64%	50%	食の安全推進課	
(4) 地域における食の安心・安全の確保の推進を担う人材の育成	地域における食の安心・安全の確保に係る正しい理解の浸透に寄与する人材の育成	・食の安心・安全推進パートナーシップ制度への登録状況	平成23年度 創設	139人 (8月創設)	202人 (H24 63人)	373人 (H25 171人)	651人 (H26 278人)	823人 (H26 172人)	1,000人	食の安全推進課、生活衛生課	